

JAとうと

自己改革レポート



JAとうとは、地域農業・地域を支える役割を担うよう、自己改革を進めています。
ここに、その取り組み内容の一部をご紹介します。

「農業者の所得増大の実現」に向けて

■訪問活動でニーズに対応

担い手農家や営農組合を訪問して、栽培技術の提案やアグリサポート資金等活用のご相談などを行うとともに、事業活動への反映につなげる取り組みを進めています。

また、リスクチェックシートを用いて、農業経営を取り巻くリスクを確認していただき、安定的な経営を目指す取り組みを進めています。



■野菜づくりの技術習得へ

県農林事務所の協力を得ながら「野菜づくり塾」を開講して、土づくりや野菜の育て方などを学んでいただきました。



■青空教室の開催

高温耐性・多収性品種「にじのきらめき」の普及に向けて、米づくり研修会や青空教室を開催しています。



「食」と「農」を通じた地域活性化への貢献」に向けて

■食農教育活動

地域の未来を担う子どもたちに、食を支える農業の役割、農業と生活・社会との関わり、地域の食文化、いのちと健康の尊さなどについて理解を深めてもらうための「食農教育」を、関係機関や地元の農家の皆さんの協力を得ながら行っています。

○地元小学生のこめ作り体験



○地元園児の秋の収穫体験



○地元小学生の大豆栽培



地域貢献活動

- 地元3市および各種団体への寄付金協力
- 公共福祉施設への精米寄贈
- こども食堂への運営費支援
- 地元3市農業祭への協賛
- 管内小学校への児童向け農業雑誌「ちゃぐりん」寄贈
- 地域防犯、高齢者・こども見守り活動
- 献血活動
- 地域イベントへの支店参画
- フードドライブ協力
- 特殊詐欺防止啓発活動



▲フードドライブ協力



▲地域イベントへの参画



▲こども食堂支援



▲農業祭



▲献血活動

組合員の皆さま方の VOICE 声

VOICE 声
園芸塾を増やしてほしい

園芸塾を通して、野菜づくりの楽しさを学んでいただくとともに、農業資材の一括注文による価格低減を図っています。

令和6年度は、年3回開催してありました園芸塾を年6回に増やして開催することを計画し取り組んでいます。



VOICE 声
土壌診断をたくさん行ってほしい

担い手等の圃場を対象に土壌診断を行い、診断結果を基に適正な施肥や栽培方法を提案するとともに、水稻の品質向上を図っています。

令和6年度は、年140件行っていました土壌診断を年150件に増やすことを計画し取り組んでいます。



VOICE 声
PRが弱く地域住民に知られていないことがあり残念です

JAとうとの活動状況は、業務報告書や広報誌、ホームページなどに掲載し、組合員、利用者の皆さまへの周知を図っています。

令和6年度は、支店だよりや公式LINEなどに活動状況を定期的に掲載することを計画し、情報発信の強化に取り組んでいます。



JAとうとは地元の農業・地域振興をはじめ、組合員・利用者の皆さまの生活設計や事業運営のお役に立てるよう取り組んでまいります。今後とも一層のご支援、ご理解をお願い申し上げます。